

ゆゑ、その年の作毛あしきゆゑ、実もすくなく
 百姓たふれ候、田うゑ時はかりに限らず、畑作
 にもそれぞれうゑつけまきの植付蒔じゆんときの旬のび候へバ、
 つくりもあしく候、名主・組頭此考かんがへを仕り、独身
 百姓右申たひことく役にさゝれ候時ハ、下人とも持もち
 よき百姓にさしかへ、独身の百姓を介抱かいほう
 申べき事

一 夫婦かけむかひの百姓にて身上しんしやうもならず、郷中がうちゆう
 友百姓ともに日頃ひごろいやしめられ候ても、身上持もちあげ
 米金をたくさんに持候へバ、名主・おとな百姓を
 はじめ、言葉ことばにてもよくあひしらひ、末座すゑに
 居候すゑものをも上座じやうへなほし、馳走ちそう仕るもの
 にて、又前まへかと身上よき百姓もふべん仕れハ、親子おやこ・
 しんるゐ・名主・組頭までも言葉をかけず、